



# 令和5年度 桂小学校グランドデザイン

## 茨城県の教育目標

- ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性をつちかう
  - じょうぶな身体をつくりたくましい心を養う
  - 郷土を愛し協力しあう心を育てる
- いばらき教育プラン  
基本理念『活力があり、県民が日本一幸せな県』  
Ⅲ「新しい人財育成」

## 桂小学校の教育目標

自ら学ぶ力を身に付けたたくましく心豊かな児童の育成

## 学校経営方針

全ては児童のために  
～笑顔を増やし、よさや可能性を伸長する学校づくり～

## 城里町の教育方針

「先生が好き、友達が好き、学校が好き、地域が好き！」

〈自分の考えや意見を自分の言葉で表現できる・言える児童生徒に〉

## 目指す学校の姿

- 活力ある学校
- 笑顔あふれる学校
- いじめのない学校
- 地域に根ざした学校

## 目指す児童の姿

- **か**しこい子
- **つ**よくたくましい子
- ほが**ら**かな子

## 目指す教師の姿

- 人間性豊かで高い使命感をもち、教育にあたる教師
- 子どもの多様性を理解し、寄り添った関係を築く教師
- 授業改善に向け研修を重ね、実践的専門性を高める教師
- 他の教職員と協働し、学校教育目標の具現化に資する教師

子どもたちとの  
合い言葉

☆「できた」を増やす・楽しむ・広げる  
☆全員で「は・あ・と」を大切にしよう  
は…話をよく聞く あ…明るくあいさつをする は…友達を大切にする

かしこい子	つよくたくましい子	ほがらかな子
<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 確かな学力を育む           <ul style="list-style-type: none"> <li>・表現力を高めるための授業改善と校内研修の充実</li> <li>・目指す姿を明確にし、学習の「振り返り」や「適用問題」の時間確保</li> <li>・一人一台端末の効果的活用</li> <li>・専科教員による指導、複数教員での個別指導の充実</li> </ul> </li> <li>○ 基本的な学習習慣の育成           <ul style="list-style-type: none"> <li>・相手の話をよく「聴く」こと</li> <li>・相手を意識した「話す」こと、「書く」こと</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 健やかな体を育む           <ul style="list-style-type: none"> <li>・「適度な運動量」を確保した体育の授業実践と外遊びの奨励</li> <li>・「のびのび☆からだ作戦」の継続実践</li> <li>・目標を明確にした体力テストの実施</li> </ul> </li> <li>○ 自己管理能力の育成           <ul style="list-style-type: none"> <li>・避難訓練等を活用した危険回避能力の育成</li> <li>・配慮を要する児童（アレルギー等）の共通理解</li> <li>・基本的生活習慣の指導継続</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 豊かな心を育む           <ul style="list-style-type: none"> <li>・合い言葉「は・あ・と」の実践</li> <li>・「自分ごととして」「本音で語り合う」道徳の授業づくり</li> <li>・「先生あのね！」アンケートの活用（いじめの未然防止、早期発見・解決）</li> <li>・読書の推奨、読み聞かせの活用</li> </ul> </li> <li>○ 自己有用感の育成           <ul style="list-style-type: none"> <li>・何でも話し合える関係づくり</li> <li>・「子供が主役、任せる、支える、認める」特別活動の実践</li> <li>・地域との関わりを生かした体験活動と地域への情報発信（HP更新、各種たより発行）</li> </ul> </li> </ul>

組織目標	グループ目標	
「できた」を増やす、楽しむ、広げる	低学年	自らのよさや可能性を見付け、「できた」を増やすことができる児童の育成
	高学年	学校の中心となって、進んで「できた」を広げる児童の育成
	特別支援	「できた」を実感できる児童の育成
服務規律の確保に向けた取組 教職員の育成 働き方改革	<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的、継続的な学校コンプライアンス研修の推進</li> <li>・校内研修の充実 ・教員評価の充実と活用</li> <li>・専科教員の導入と活用 ・時間外在校時間45時間以内 ・働きがい改革</li> </ul>	